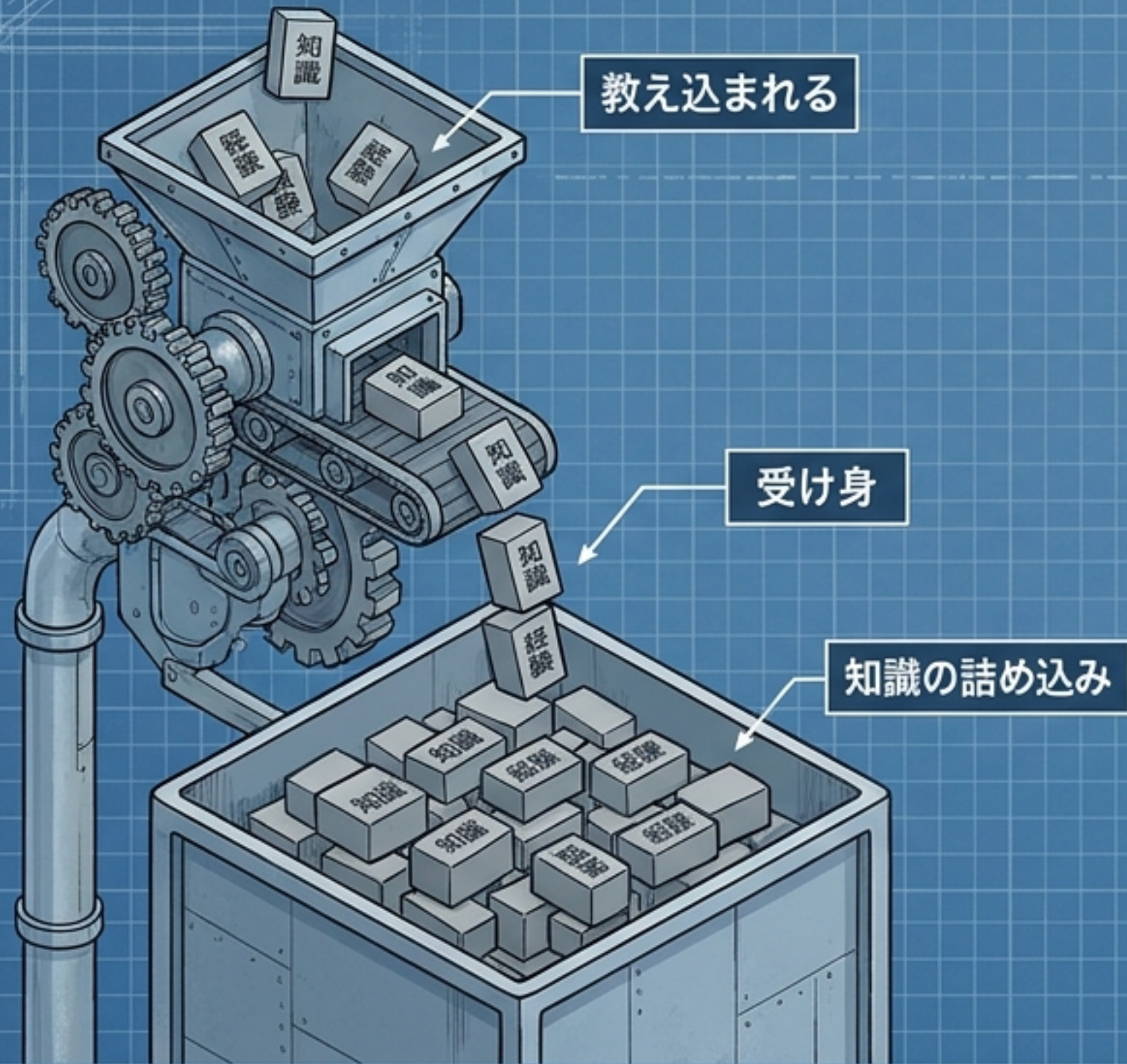


人材育成の真髄は「教え込む」ことではない

知識や経験の受動的な蓄積から、自ら考え設計する「能動的キャリア構築」へのパラダイムシフト。

従来の受動的育成

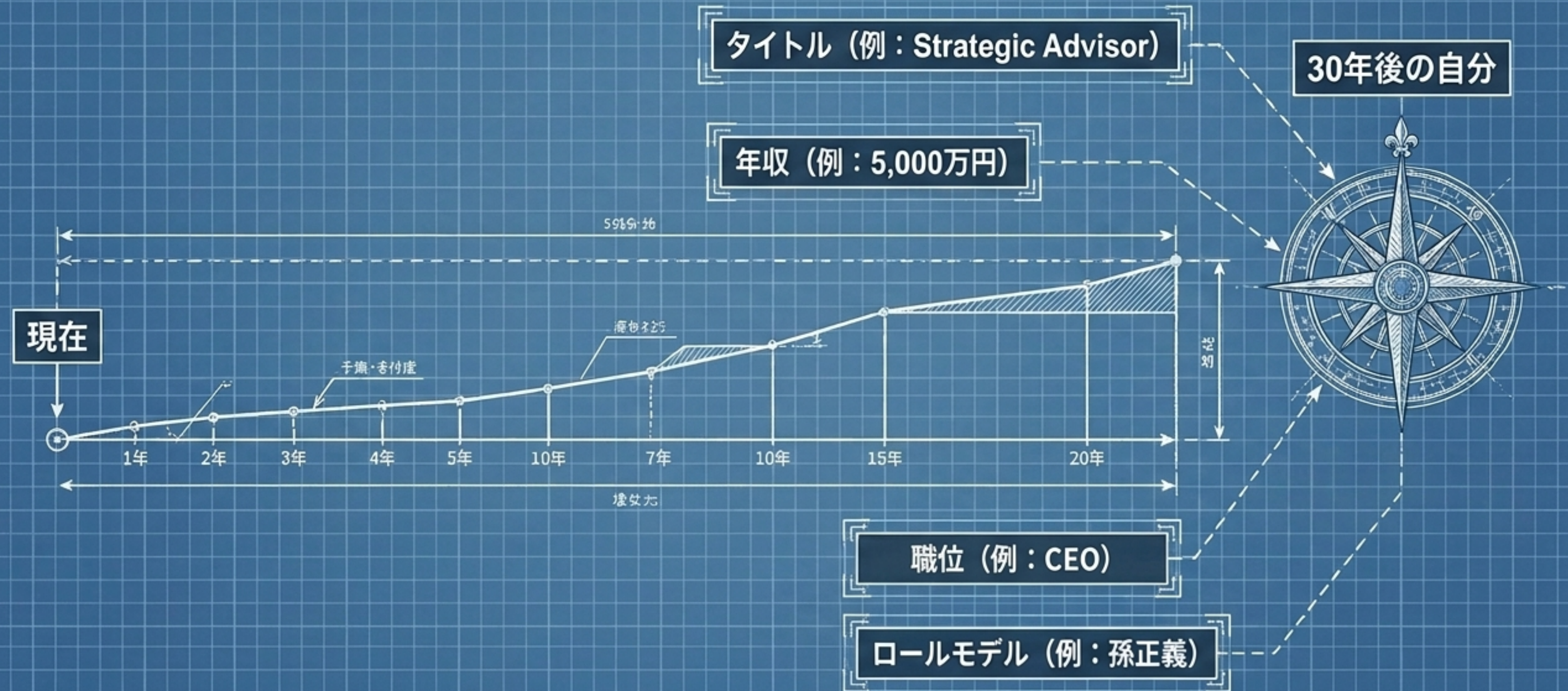


勝山さんのフレームワーク



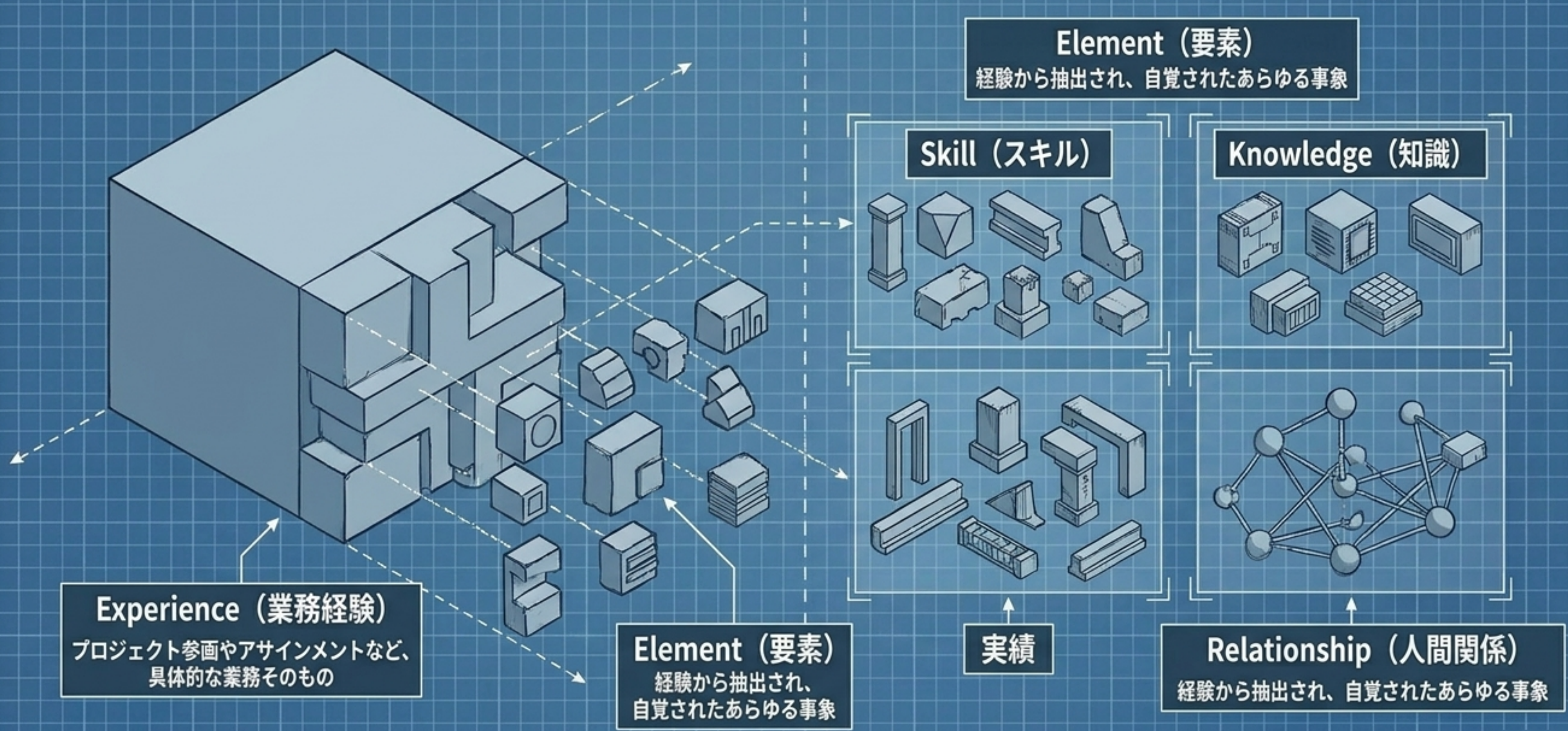
キャリア設計の第一歩：30年後の「究極のアンカー」を下ろす

現在からの積み上げではなく、遠い未来の理想像を「固定星」として設定する。



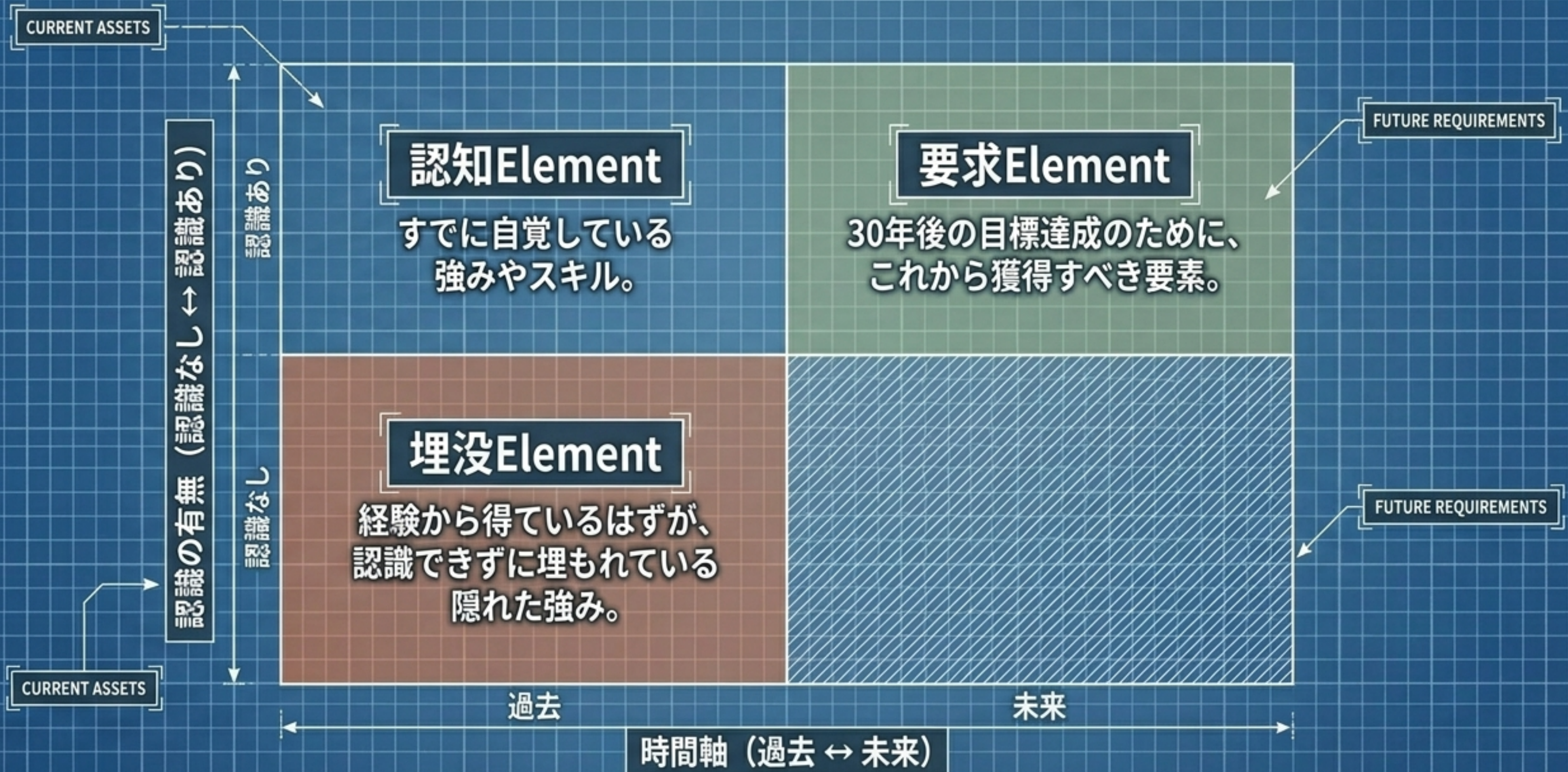
キャリアを駆動する双発エンジン：「Experience」と「Element」

過去の職歴から得られたスキルや知識を抽出し、キャリアの構成要素として整理する。



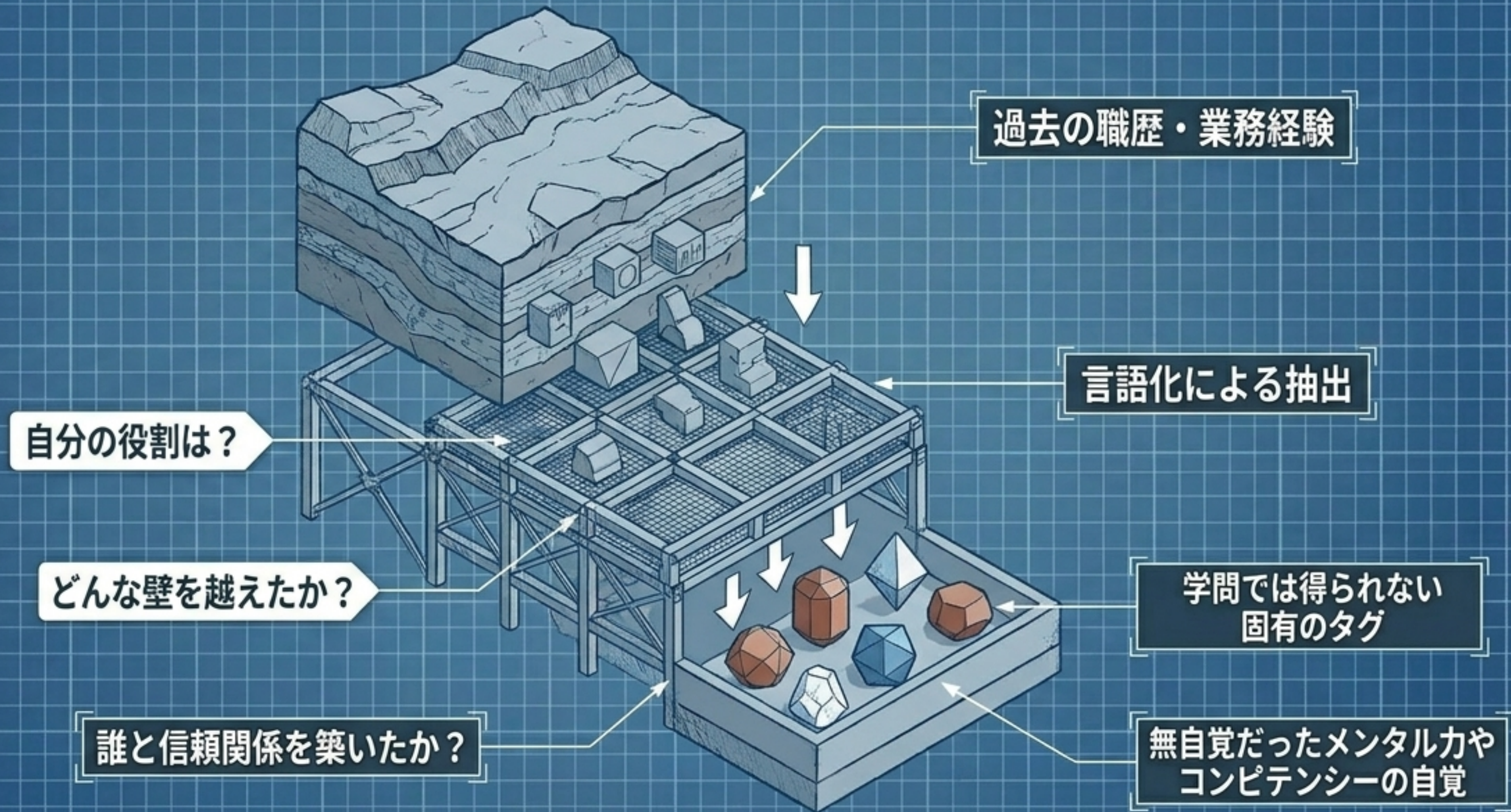
Elementの3つの特性：あなたの資産と現在地を診断する

時間軸と認識の有無によって、Elementを論理的に分類する。



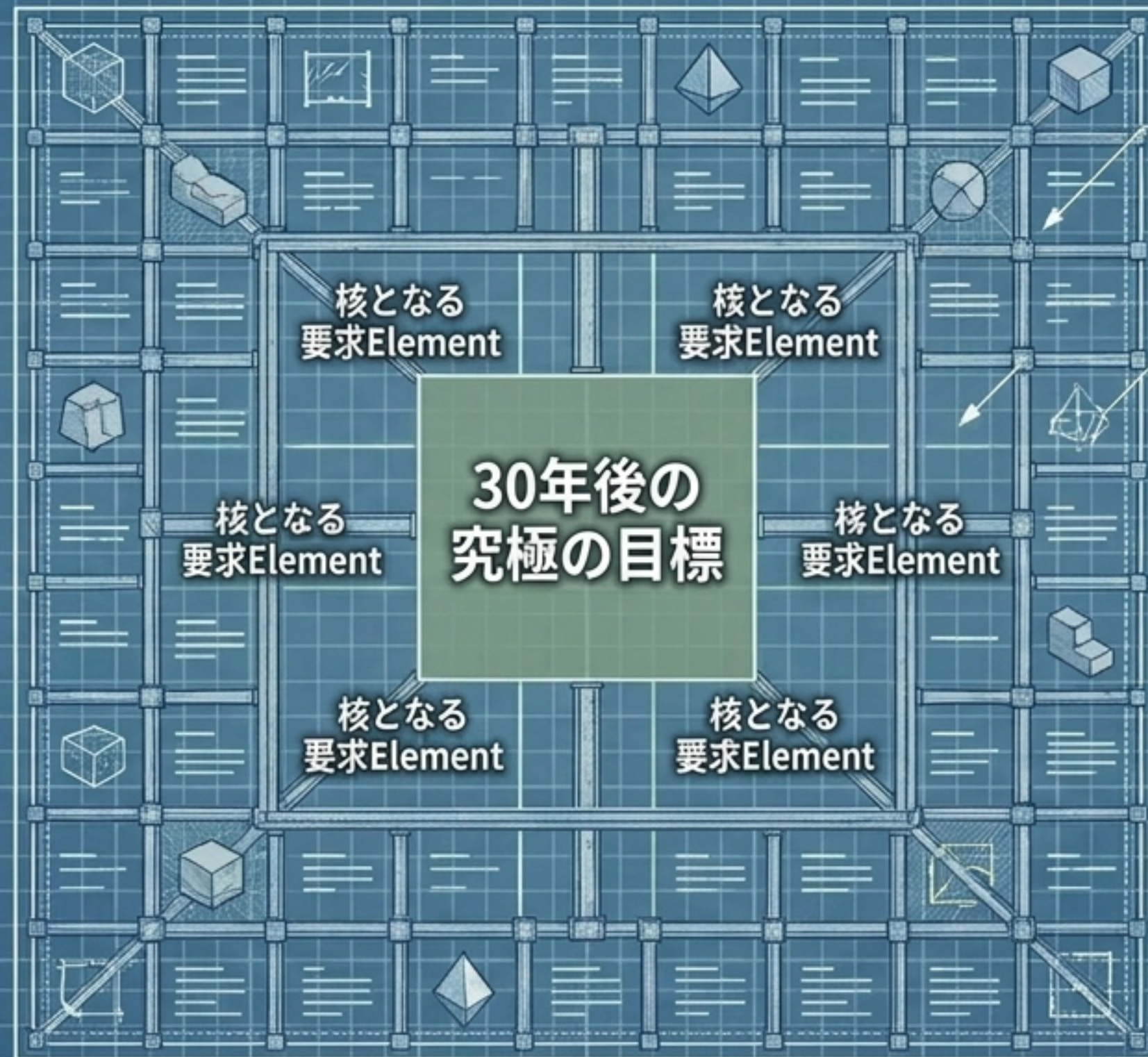
隠れた強みを発掘する：埋没Elementの「言語化」プロセス

過去の経験を言葉に変換することで、無自覚な資産をキャリアの武器へと昇華させる。



未来の設計図を描く：マンダラートによるElementデザイン

壮大なビジョンを81の具体的な「要求Element」へと分解・可視化する。



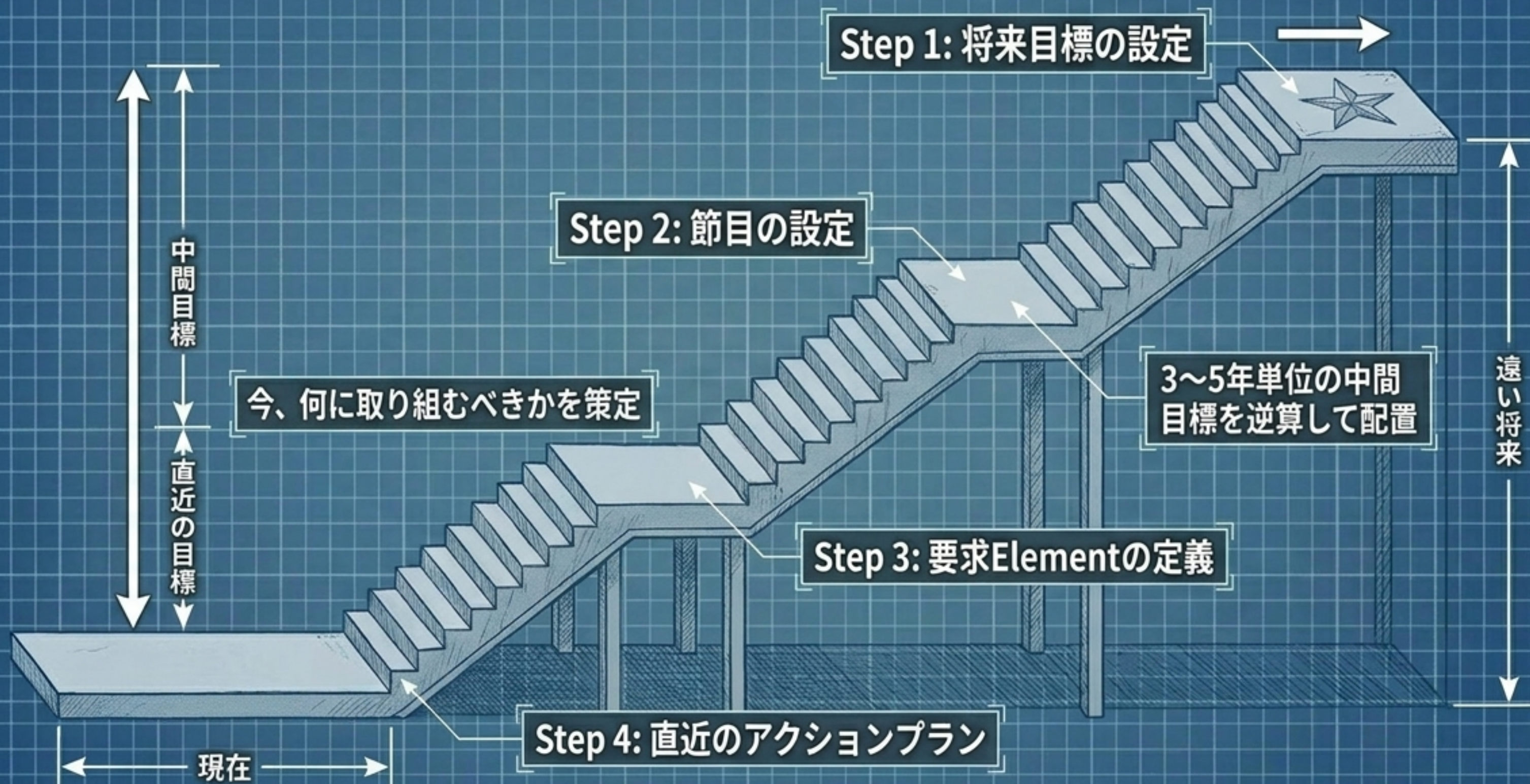
具体的な要求Element

核となる要求Element

Architect' Note

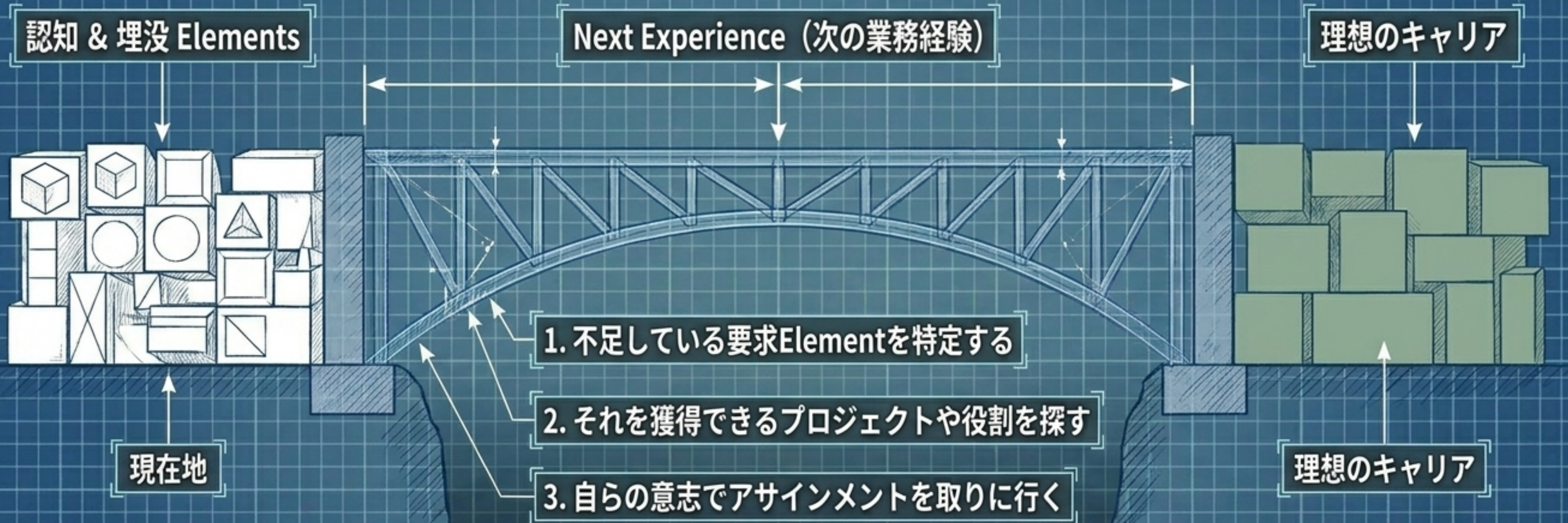
大谷翔平選手も活用した手法。
思考を網羅的に可視化し、
新たな埋没Elementの気づき
を生む。

バックキャストの具体的な手順：未来から現在へ橋を架ける 遠い将来から逆算し、直近のアクションプランへとブレイクダウンする。



理想と現実のギャップを埋める：「Next Experience」のセルフアサイン

会社から与えられる仕事を待つのではなく、必要なElementを満たす経験を自ら選び取る。



自律的キャリアエンジン：勝山さんフレームワークの全体像

未来の設計と自己発見を継続的に回し続けることで、キャリアは加速する。

